



2021年11月22日

各 位

会社名 プロパティエージェント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中西 聖  
(コード番号 3464、東証第一部)  
問合せ先 取締役 岩瀬 晃二  
(TEL. 03-6302-3627)

## 子会社設立に関するお知らせ

当社は、2021年11月22日の取締役会において、新事業を行う子会社を設立することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 子会社設立の理由

#### ■中期ビジョン達成に向けDX領域に注力

当社は、中期ビジョンの一つに『進化・変革とサステナビリティの共存』を掲げ、新規事業の開発、既存事業の推進に邁進しております。ここ数年は、このビジョンのもとDX(デジタルトランスフォーメーション)に注力しており、2020年8月には個人認証プラットフォーム事業(顔認証等)や関連システム受託開発事業を手掛ける「DXYZ(ディクシーズ)株式会社」を新設し、2021年9月にはDX認定取得事業者認定されるなど、様々な展開をしてまいりました。

当社グループは、DX推進において、「事業の成長戦略」と「社内の構造改革」を進めており、DXYZ(ディクシーズ)株式会社の事業展開は、「事業の成長戦略」の一つに該当いたします。また、「社内の構造改革」においては、SFAツールのリプレイスと最適化を行うことで情報の一元管理とKPIの可視化を行い、1人当たりの生産性を1.5倍以上にすることやこれまで手作業で行っていた不動産買取査定をデジタル技術を用いた自動化システムを導入することで一人当たりの生産性を2倍にすることなどの実現を目指し、試行錯誤を重ね、実装に至りつつあります。

#### ■DX市場規模の成長性期待大

日本でのDX市場規模は、株式会社富士キメラ総研が出している調査結果によると、2019年度で7,912億円となっており、これが2030年度には3兆425億円と実に3.8倍にもなると言われております。特に不動産業界は2019年度で160億円であるものの、2030年度にはこれが900億円と5.6倍の伸びが想定されており、市場全体の伸びより大きくなることが想定されております。これは、不動産業界におけるIT資本投入や労働生産性が、欧米のそれと比較して現状は低く、その主要因に中小事業者が多いことや専任人材が置けないことなどが考えられておりますが、そのようなターゲットに対し、当社グループの知見・ノウハウは非常に有用であると考えており、このマーケットを中心に事業拡大していくことが当社グループの価値向上につながるものと考えております。

上述の通り、DX認定事業者として、「社内の構造改革」にて培ってきた知見・ノウハウを外部へ展開することが今後の当社グループの成長に大きく貢献すると考えられることから、「デジタルソリューションで日本の生産性を向上する」というビジョンを掲げる子会社「バーナーズ株式会社」を新設し、セールスフォースを中心としたクラウドシステム導入・運用支援サービスや様々なクラウドサービスをお客様の課題が解決できる形に統合していくクラウドインテグレーションサービスといったDX推進事業を行うことといたしました。

今後は、2021年7月に子会社化したアヴァント株式会社のシステム受託開発事業とこの度設立のバーナーズ株式会社のDX推進事業の両輪でデジタル関連事業を本格的に推進し、3年後に両社で売上高15億円、バ

バーナーズ株式会社だけでも売上高5億円を目指して、拡大していくことを目標としていく予定であります。

## 2. バーナーズ株式会社概要

(1) 名称	バーナーズ株式会社	
(2) 所在地	東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー41階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 中西 聖	
(4) 事業内容	MA 導入・運用支援事業 CRM/SFA 導入・運用支援事業	
(5) 資本金	1,000万円	
(6) 設立年月日	2021年11月22日(予定)	
(7) 出資比率	当社100%	
(8) 当社と当該会社との関係	資本関係	当社が100%出資する子会社であります。
	人的関係	当社の代表取締役社長が当該会社の代表取締役を兼務する予定であります。
	取引関係	当社のDX推進、関連システム受託開発を当該会社に発注する予定であります。

## 3. 今後の見通し

新設子会社が、当社の当連結会計年度の業績に及ぼす影響については、現時点においては軽微であると判断しておりますが、今後の精査の過程において、影響が重要なものとなる場合には、適時開示する予定であります。

以上